



ヨルダン JICAのシリア難民・ホストコミュニティ支援

2015年6月

シリア難民の現状：約63万人(UNHCR 2015.5)

- ✓ 84%の難民がホストコミュニティに在住
- ✓ 社会サービスの提供等、ヨルダン政府に**重い負担**

- ✓ ホストコミュニティの**開発ニーズ**に
ながらる**難民支援**の実施
- ✓ **草の根レベル&国家レベル**
- ✓ **自然災害**にも即応

シリア難民・ホストコミュニティ支援方針

UNHCRと連携し、包括的な難民支援を実施。

難民キャンプ内での支援

- 緊急援助物資** 洪水被害対策：(テント、毛布)
- 協力隊員** 青少年活動：(2013年4月～計7人派遣)

ホストコミュニティでの支援

- 財政** 人材育成・社会インフラ改善事業：(約122億円。2012年8月L/A調印、教育・保健支援)
- 財政強化型開発政策借款：(120億円。2014年3月L/A調印、財政負担軽減支援)
- 財政・公的サービス開発政策借款：(240億円、2015年プレッジ、財政負担軽減支援)

- 水** 緊急開発調査：(6.6億円。施設の概略設計、上下水道計画策定、小規模修繕活動)
- 上下水道整備無償資金協力：(25.1億円。2014年3月贈与契約締結。上水道整備)

- 保健** 保健資機材：(5,400万円相当、2013年)
- リプロダクティブヘルス：(女性の保健支援、2015年8月開始予定)

- 障害者** シリア難民障害者の人材育成：(2014年度 障害当事者専門家、国際協力専門員を派遣、2015年度 継続実施)
- 基礎情報収集調査：(2015年度内実施予定)

- 教育** 教育資機材：(2,000万円相当、2013年)



JICAのシリア難民・ホストコミュニティ支援

2015年6月



トルコ

シリア難民の現状：約176万人 (UNHCR 2015.5)

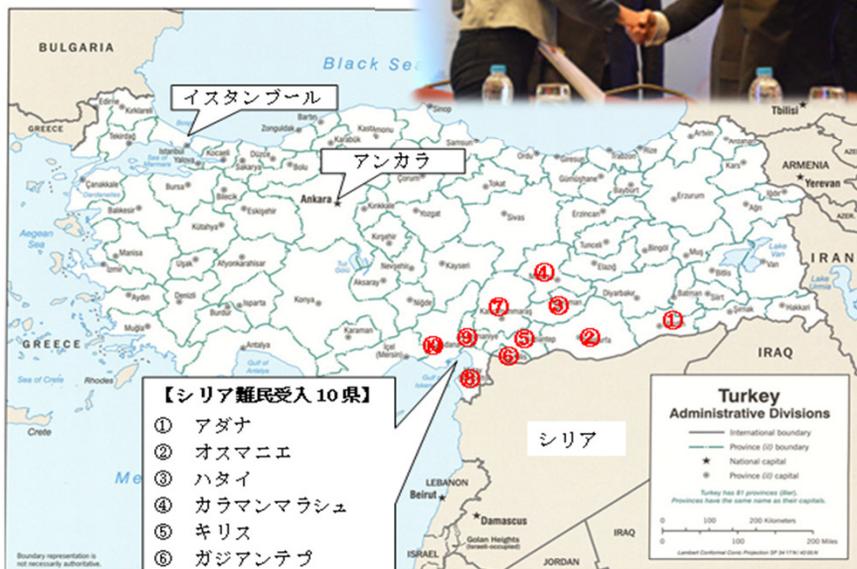
- ✓ 83%の難民がホストコミュニティに在住
- ✓ 社会サービスの提供等、トルコ政府に負担

地方自治体インフラ改善事業：

(450億円、2015年5月L/A調印) ホストコミュニティ(南東地域)の地方自治体の上下水道・廃棄物管理に係るインフラ整備)

対象事業：

上水道(浄水場、送配水管)、下水道(下水処理場、下水管、雨水収集設備)、廃棄物処理施設に関する設備、維持管理機材



レバノン

シリア難民の現状：約118万人 (UNHCR 2015.5)

- ✓ ホストコミュニティに在住 (既存人口の1/4)
- ✓ 住民間の軋轢や不満が高まる⇒新規難民受入制限

- ✓ 技術協カプロジェクト (ホストコミュニティ支援、教育分野支援等) 新規案件を協議中 (調査団派遣中)

地方自治体・地域コミュニティの対応能力 (難民を含めた住民内の不安定要因を緩和する能力) 強化が課題

- ✓ 帰国研修員同窓会との連携による小規模プロジェクトの実施

ケスロワン (円借款)
上水道整備事業完工式
2012.6



帰国研修員同窓会中東地域
ワークショップ
@バイルート